



WAFCAT ホットニュース



★第167号★ 2018/8/2発行

〈発信〉認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)
 住所 〒448-0834 愛知県刈谷市司町1-2 ふれあいプラザゆきそう内
 TEL 0566-23-5822(内線5990-200) FAX 0566-23-5827(内線5990-900)
 E-mail ZC8WAFCA@denso.co.jp URL http://wafca.jp もチェックを!

WAFCAT への
 連絡はこちらか
 らどうぞ。

1. WAFCAI に新職員加入
2. WAFCAT フレンドシップキャラバン
 車いす修理活動実施
3. タイ奨学証書授与式(基金オリエンテーション&
 啓発セミナー)開催
4. 「デンソー太陽納涼大会」に出展
5. フジ虎ノ門整形外科病院様より中古車いすを受領

1. WAFCAI に新職員加入 (7/12)

WAFCAIの新しいスタッフ、レオナルド・レスマントさんを紹介します。

「皆さん、こんにちは。私の名前はレオナルド・レスマントです。1982年8月6日生まれ、ずっとジャカルタで暮らしています。趣味はニュースを見たり、情報番組やエンターテインメントに触れることです。Youtubeで情報を集めるのもとても好きです。私は大学で社会科学学部に属し、国際関係について学んできました。卒業後Good Neighbors IndonesiaやSave the Childrenなどインドネシアに拠点のある国際NGOで働いてきました。教育支援プログラムをつくったり、女性の収入向上プログラムを運営したり、資金調達強化のためのマーケティングなどをしてきました。一般企業でアフターサービスの仕事をしたこともあります。WAFCAは企業が設立したNGOでありながら、活動は一人ひとりの障がい者をしっかり見て、それが地域に根付いているところが大変素晴らしいです。私がこれまで働いていた大きなNGOとは違い、WAFCAIは小さな団体ですが、活動内容はきめ細かく、スタッフの一人ひとりの仕事に対する熱意や、それを支える理事や支援者との関係がしっかりできていて、この一員になれたことがとても嬉しいです。近い将来、日本の支援者の皆さんにお会い出来るのを楽しみにしています。これからどうぞよろしくお願い致します。」



〈レオナルド・レスマントさん〉



〈障がい自宅訪問の様子〉



〈奨学証書授与式〉

2. 第33回 WAFCAT フレンドシップ・キャラバン (7/7) で50台の中古車いすを修理

WAFCATボランティア会員、デンソータイランド・サイアムデンソー労働組合、WAFCAT理事・スタッフ・アドバイザー計34名がタイ東北部ナコンパノム県の特設教育センターを訪れ、事前に集めた中古車いす50台の修理活動を行いました。センターの職員約40名も会場設営やボランティアのための食事準備など全面的にサポートしてくれました。今回初めてミシンを持ち込み、フレームのサイズに合わせたシートの手作りをしました。サビを落として水洗いする人、シートを縫製する人、スキルと経験を生かしてむずかしい修理を担当する人等、役割分担して助け合いながら、修理を終えることができました。交流パーティーでは、踊りやカラオケで盛り上がり、疲れを癒すと共に充実した活動を振り返りました。



〈車いす修理風景〉

～初参加のサイアムデンソー剣持さんの感想～

「あまりに沢山の車いすがあり、初めは修理し終わるのかと思いましたが、皆さんのひたむきな努力と熱意でほぼ完了する事ができ、本当に驚きました。修理の仕方や手順がわからず戸惑いましたが、参加者の皆さんに教えて頂き、少し自分でやれるようになり有り難かったです。直すという活動は活動の継続性や有効性に関わってくるので、寄付をする事よりもある意味で重要な取り組みだと思いました。」



〈フレンドシップ・キャラバン参加者〉

3. タイ奨学証書授与式（基金オリエンテーション&啓発セミナー）の開催（7/19-20）

タイ東北地方コンケン県市内のホテルにて奨学証書授与式を開催し、35名の奨学生のうち25名とその保護者、教員が出席しました。式典には日本からWAFCAを代表して小松諄悦副理事長、WAFCATからスポンタム理事長が出席し、奨学生に証書と記念ジャケットを手渡しました。

小松副理事長はスピーチの中で、「障がいの有無に関わらず、国が違ってもお互いに言葉や文化の壁（バリア）を乗り越える（フリー）社会の実現にみんなで協力しよう」と呼びかけました。

また、スポンタム理事長は生まれつき障がいがある自身の就学・通学の経験やパラリンピックに出場した経験から、「すべての人生にストーリーがあり、挑戦する勇気を持って一人ひとり違う自分のストーリー（人生）を作っていくしてほしい」と励ましのメッセージを送り、奨学生は熱心に聞き入っていました。



<奨学証書授与式>



<証書を受領した奨学生>

式典に続いて、奨学生の興味のある分野（大学進学、職業訓練、障害者スポーツ、アート）に分かれて目標設定アクティビティを行ったり、全員でSNSのグループを作り、離れていてもお互いに報告し合い、励ましあえるコミュニティを作ることを約束して閉会しました。

4. 「デンソー太陽納涼大会」に今年も出展しました（7/21）

ボランティアの皆さんとともに「デンソー太陽納涼大会」に出展し、「ポッチャ体験」、タイ・インドネシアの「チャリティ商品販売」を行いました。

暑い日でしたが、「ポッチャ体験」は延べ119名が体験しました。

今年はポッチャが「障がい者スポーツ」と知ってもらうため、車いすに乗って体験してもらっています。同時に車いす寄贈募金もお願いしています。

今後、イベントを通じて3台の車いす寄贈を目指してポッチャ体験を行います。ぜひ遊びにきてください！

デンソー太陽の従業員の方からは、「今年もタイ・インドネシアの障がい者が作った商品を販売し、WAFCA活動に参加できた事がとても良かったと思う」と言っていました。

～8月のイベント出展のお知らせ～

★デンソー2018 サンクスフェスタ

日時：8月4日(土)16時～20時

場所：デンソー湖西製作所

内容：チャリティ商品販売、ポッチャ体験

★夏休み特別教室④ ポッチャを楽しもう！

日時：8月19日(日)10時～15時

場所：東邦ガスガレキ館(東海市新宝町507-2)

内容：ポッチャ体験



<ポッチャ体験の様子>



<チャリティ商品販売の様子>

5. フジ虎ノ門整形外科病院様より30台の中古車いすを寄贈いただきました（7/20）

静岡県御殿場市のフジ虎ノ門整形外科病院様より30台の中古車いすをご寄贈いただきました。リクライニングのタイプから普通タイプの車いすまで様々な種類の中古車いすをいただき、WAFCA 車いす病院にてひとつひとつ修理中です。

こうして様々なところからご寄贈いただいた中古車いすは、WAFCA 車いす病院にて修理され、各拠点にて寄贈したり、部品を取りだし、修理依頼のあった車いすへ取り付け部品として転用するなど、有効活用させていただいております。

普段は修理依頼が中心なWAFCA 車いす病院ですが、中古車いす販売も行っております。

現在は約10台ほど、普通タイプ・自走式や介助式車いすから、リクライニングタイプなど様々な中古車いすを取り扱っておりますので、ぜひ一度事務局までご連絡ください！



<寄贈いただいた中古車いす>



<積み込み時の様子>